

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

病院長名	大原 弘隆
所在地	〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町 1 丁目 1 番地の 1
交通案内	名古屋市営地下鉄「黒川」、「名城公園」又は「庄内通」駅 より徒歩 20 分 名古屋市営バス 栄 11・名駅 13 他「西部医療センター」 下車すぐ（時間帯によって「志賀公園前」下車徒歩 2 分）

□ 病院の特徴

西部医療センターは、地域の中核病院として親しまれてきた城北病院と城西病院を前身とします。2011 年にクオリティライフ 21 城北内の現在地に新築移転し、両院を統合した名古屋市立西部医療センターとして運営を開始。以来、小児・周産期医療、がん医療、脊椎医療、救急医療の拡充に取り組んできました。2013 年 2 月には名古屋陽子線治療センターを開設し、東海 3 県で初めてとなる陽子線がん治療をスタート。また同年 9 月には地域医療支援病院の承認を受け、2019 年 4 月には地域がん診療連携拠点病院に指定されました。2021 年 4 月より名古屋市立大学医学部の附属病院となり、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターに改称しました。病床数は一般病床 500 床で、診療科数も 33 診療科を標榜しており、ほとんどの疾患に対応できる研修体制を整えています。

□ 研修プログラムの特徴

【目標】主担当医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とします。

【研修期間】3 年

【研修スケジュール例】

専攻 1 年	内科各領域 2 か月のローテーション研修 総合内科や感染症領域、また、症例の比較的少ない領域は領域横断的に担当
専攻 2 年	地域医療密着型連携施設にて研修（1 施設にて 1 2 か月間研修または 2 施設にて各 6 か月間研修）
専攻 3 年	基幹施設にて内科専門研修・専門領域研修（サブスペシャリティ） 特別連携施設での短期研修も可

※ 1 年目と 2 年目は、順番を入れ替え可。

※ 連携施設では、原則 1 施設にて最低 6 か月間研修を行う。

内科医局会



□ 主な連携施設

【基幹相互連携施設】

名古屋市立大学病院

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

豊川市民病院

【地域医療密着型連携施設】

旭ろうさい病院，知多厚生病院

稲沢厚生病院，厚生連足助病院

海南病院，大同病院，名古屋記念病院

【特別連携施設】

みらい光生病院

三重北医療センターいなべ総合病院

三重北医療センター菰野厚生病院

□ メッセージ

指導医：片田 栄一（臨床研修センター長）

総合内科を構えて内科全診療科の専門医をそろえており全般的な研修に始まり、どの専門分野も目指すことができる病院です。全日の内科二次救急体制で、地域との病診連携にも迅速に対応しています。内科の当直体制は病棟直と救急直の二本立てで、2 人の内科当直医が初期研修医とともに夜間休日をしっかりと対応してくれるためオンオフのきっちりとした、ライフワークバランスのとれた生活を送ることができます。みなさんの目指す医師像に向けて良き指導ができればと、心よりお待ちしております。



□ 募集要項

・採用予定人数	7 人
・給与／月額	548,000 円
・当直回数／月	－
・当直料／回	－
・その他	平日夜間勤務有（2～3 回／月） 休日勤務有（日勤 1～2 回／月・夜勤 1～2 回／月）
・応募連絡先	担当者 病院管理部管理課庶務係 電話番号 052-991-8121 E メール west-resident@sec.nagoya-cu.ac.jp